

# 定額制物流ロボ積極提案

## プラスオート 荷物の季節変動対応 ソリューション

三井物産と日本GLP（東京都港区）が出資するプラスオートソリューション（同）は、物流向けロボットのサブスクリプション（定額制）サービスの提案を本格的に始めた。導入時におけるセットアップやレンタル、メンテナンス、撤去代金などをすべて月額定額費用に織り込んだ形で提供する。荷物の取扱量が季節要因で異なったり、繁忙期と閑散期が異なる品種を抱える企業などにRaaS（サービスとしてのロボット）ソリューションの一つとして訴求していく。

今後、物流事業者が倉庫を自社保有だけでなく、複数企業が入居するマルチテナント型の施設を利用するケースがより増えていくと想定。顧客の戦略見直しに合わせて容易にシステムを導入・撤退できるサービスとして普及を目指す。



ソーティングロボットシステムは荷物の取扱量に応じたシステムを構築できる

浙江省のソーティングロボットシステム「t-Sort」、ラピュタ

ロボティクス（東京都中央区）が開発したピッキングアシスタントロボット「PAA-R」などを提案する。

t-Sortは、可動式のトレーを搭載した無人搬送車（AGV）。季節変動や荷物の取扱量に応じてロボット台数の増減やレイアウト変更などにも対応できる。ロボットはプラスオートソリューションが保有・貸し出しするため、異なる現場間でも持ち回りで使用することが可能だ。

一方、PAA-Rは、ロボットが物流倉庫内を走行。ピッキングが必要な商品が収められた棚に順々に作業者を案内する。作業者が商品を運搬せず、棚に保管された商品を探すことが容易になる。